

第40回 北海道建築士会全道大会(紋別大会)報告書

9月18日(金) 青年サミットに清水洋平・矢地秀徳が出席、残り7人(50音順 佐藤智春、鈴木要、下元英徳、須藤志津子、高橋正明、山岡将俊、山崎景子)は9月19日(土)7時20分に釧路を出発し紋別市民会館に到着、大会参加受付しました。(鈴木雅人・金子ゆかりは別途紋別入り)

12時30分分科会に出席

分科会はそれぞれA分科会(女性委員会)、B分科会(まちづくり委員会)、C分科会(青年委員会)に分かれ参加しました。

分科会のテーマは、

A分科会：素材のチカラ オホーツクの森と暮らしをつなぐ

「木」に焦点をあて、地域利用促進のための制度を学ぶセミナーと地域材運用の実例(北見信金紋別支店)の見学を行いました。



北見信金紋別支店外観



B分科会：波香の四季街(はこうのしきがいはい)

一時は賑わいを見せた街の中心部も、時代の波にもまれ哀愁を漂わせながら衰退しますが、街は寄せては返す波のように、また違う形で活気を取り戻そうとします。その情景を「波香」と呼ぶことにしました。

まちあるきを通してその「波香」を肌で感じ、中心市街地の再開発への足掛かりを探りました。

C分科会：まちなかで考える 地域コミュニティと空き家 建築士としてできること

空き家問題に焦点をあて、空き家の現状や課題、そしてその対策や施策を学ぶとともに、地域コミュニティの活性化に繋がる空き家の有効活用方法について協議しました。

15時00分から大会式典に出席

全道の建築士会の会員が多数集まりました。



16時50分から基調講演を拝聴

基調講演は講師に建築家の倉本龍彦氏による

『ニセコ斜めの家・始末記 -豪雪と残暑とともに-』



18時30分から懇親会に出席

懇親会はたくさんの料理がならんでいましたが、蟹がすぐ無くなると云われ皆で取りに行き堪能しました。又、ガールズバンド「東京ブラススタイル演奏」、紋別のゆるキャラの（紋太）、（モベモン）も参加し楽しい懇親会になりました。



翌日は、かまぼこで有名な「出塚水産」に寄り、揚げたてのかまぼこを買い、途中「屯田歴史館」を見学し、帰途につきました。

